

ACKG 今期受注高400億

重点化プロジェクト 事業経営伸びる

ACKグループ（ACKG）は、今期（2015年9月期）の重点化プロジェクトの展開方針をまとめた。期首時点（14年10月）で64件以上を計画しており、重点化プロジェクトとその他の事業を合わせた今期の受注高は、400億円以上を目指している。野崎秀則社長は「プロジェクトそのものの数は増えていくだろう」と見込んでいる。

重点化プロジェクトの内訳は、インフラ保全・運営管理が18件、海外新規開拓が12件、防災が9件、交通（高度化・総合化）が7件、事業経営が6件など。3力年で15億円を投資する。前期（14年9月期）

の重点化プロジェクトは52件だった。事業経営が前期の1件から大きく増えており、野崎社長は「地域の活性化を狙っている」と思っている。営を進めていこうと思っていける。できる限り伸ばしていきたい」と意欲を示している。

また、今期の受注高に占める重点化プロジェクトの割合は、その他の受注業務と合わせて約4割となっている。20年9月期にはこれを全体の約6割に拡大したい考えで、3軸市場別では国内公共が5割、海外が3割強、民間が2割弱を計画している。同期の受注高の合計は500億円以上を目指している。